保安業務資格者数の算定表

事業所の名称：

保安業務区分	保安業務資格者数の算定	必要資格者数
①供給開始時点検・調査	$\frac{\text{消費者戸数()}}{20,000} =$	
②容器交換時等供給設備点検	$\frac{\text{消費者戸数()}}{100 \times \text{月間実働日数()}} - \text{調査員数()} - \text{充填作業数()} =$ <p>※ただし、0未満となる場合は、0とする。</p>	調査員数() 充填作業数()
③定期供給設備点検	$\frac{\text{消費者戸数()}}{25 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 - \text{充填作業数()} =$ <p>ただし、0未満となる場合は、0とする。 補助員を伴う場合は、次の式による。</p> $\frac{\text{消費者戸数()}}{25 \times 4 / 3 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 =$	補助員数() 充填作業数()
④定期消費設備調査	$\frac{\text{消費者戸数()}}{25 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 =$ <p>ただし、補助員を伴う場合は、次の式による。</p> $\frac{\text{消費者戸数()}}{25 \times 4 / 3 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 =$	補助員数()
上記③④重複実施の場合(この場合は、③、④の算定は不要)	$\frac{\text{消費者戸数()}}{20 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 =$ <p>ただし、補助員を伴う場合は、次の式による。</p> $\frac{\text{消費者戸数()}}{20 \times 4 / 3 \times \text{年間実働日数()}} \times 1/4 =$	補助員数()
⑤周知	$\frac{\text{消費者戸数()}}{20,000} =$ <p>ただし、②、③、④のいずれかと同時の場合は、</p> $\frac{\text{消費者戸数()}}{40,000} =$	調査員数() 補助員数() 充填作業数()
⑥緊急時対応	$\frac{\text{消費者戸数()}}{20,000} =$	現有保安業務員資格者数(保安業務計画書の数と同数になる。)
⑦緊急時連絡	$\frac{\text{消費者戸数()}}{20,000} =$ <p>※消費者戸数が20,000戸を超える場合は、 $1 + \{\text{消費者戸数()} - 20,000\} \times 1/80,000 =$</p>	調査員数() 補助員数() 充填作業数()

※ 事業所が複数ある場合は、事業所ごとに別葉とすること。

※ ③④重複実施の場合は、③、④の各算定式によらず、「③、④重複実施の場合」の式のみにより算定した数をもって③、④の保安業務に必要な資格者数とすること。